

これからの在宅医療を語ろう会(情報共有ツール編) アンケート結果

◆日時 平成27年3月5日 15:00~17:00

◆場所 グラッツェ

◆参加数 59人

内訳: 医師12人 歯科医師2人 薬剤師4人 看護師12人 保健師3人 介護2人

ケアマネジャー15人 社会福祉士2人 理学療法士1人 行政3人

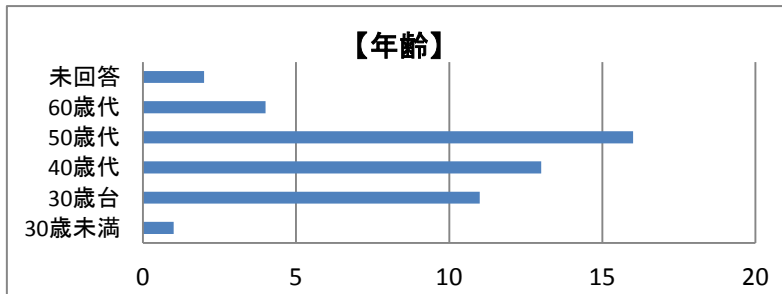
サービス管理者1人 事務局2人

◆アンケート回収率 79.7%(47人から回答)



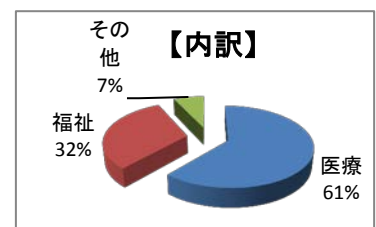
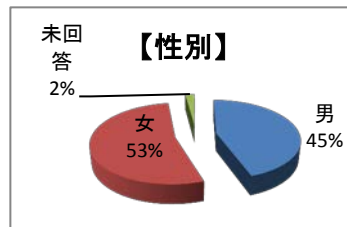
1、参加者の年齢について

30歳未満	30歳台	40歳代	50歳代	60歳代	未回答
1	11	13	16	4	2



2、性別

男	女	未回答
21	25	1

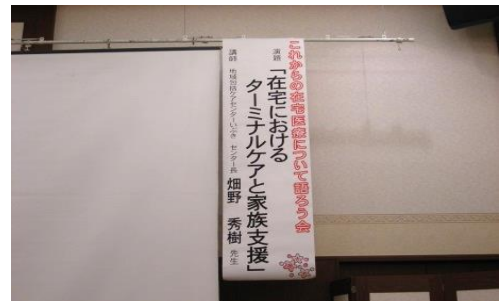
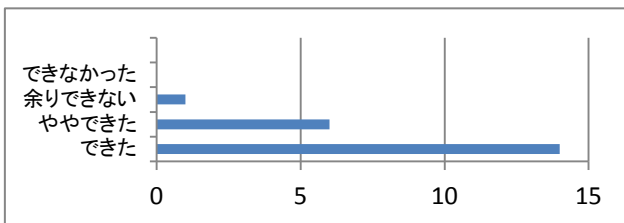


3、職種

医療	福祉	その他
35	18	4

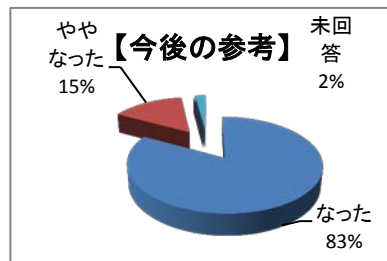
4、理解度

できた	ややできた	余りできない	できなかった
14	6	1	0



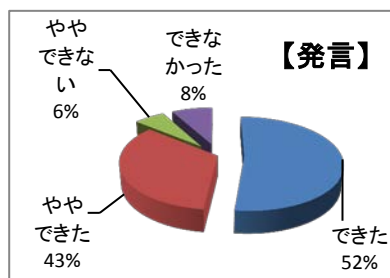
5、今後の参考になったか

なった	39
ややなった	7
余りならなかった	0
ならなかった	0
未回答	1



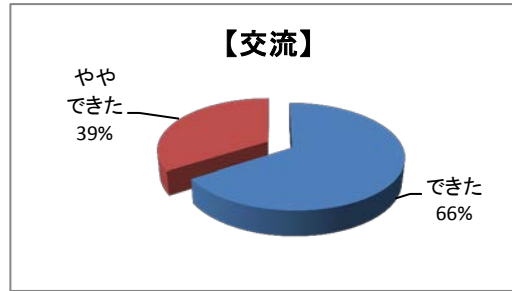
6、発言できましたか

できた	26
ややできた	17
ややできない	3
できなかった	4



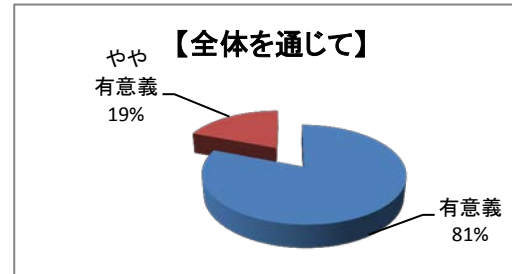
7、交流できましたか

できた	31
ややできた	16
ややできない	0
できなかった	0



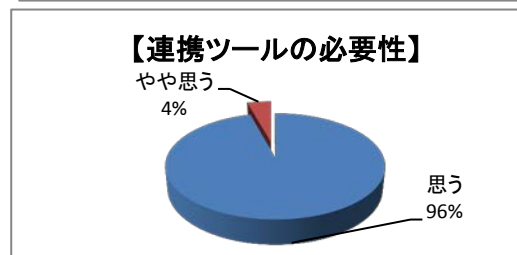
8、全体を通じて

有意義	38
やや有意義	9
やや有意義なし	0
有意義なし	0



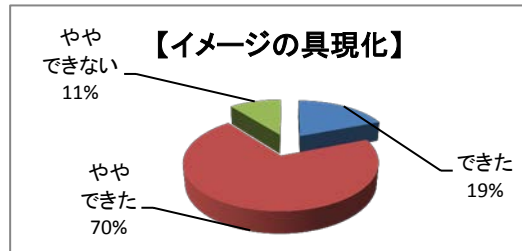
9、連携ツールの必要性

思う	45
やや思う	2
やや思わない	0
思わない	0



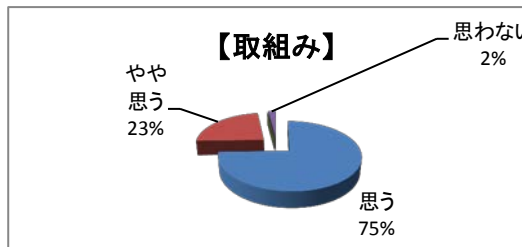
10、イメージの具現化

できた	9
ややできた	33
ややできない	5
できなかった	0



11、取組み

思う	35
やや思う	11
やや思わない	0
思わない	1



12、感想や意見

- ・多くの先生方が参加されていて、とても有意義な研修会でした。今後もこのような企画が続くといいなと思います。
- ・薬剤師を活用してください。
- ・より多くの医療者に参加してもらえるよう病院でもお願いしたい。
- ・長浜市内でサービス付高齢者向け住宅の建設を考えています。看取り部分も含め是非、ご指導、連携をよろしくお願いします。
- ・次回も参加させて頂きます。
- ・ヘルパーとして参加させて頂きました。在宅医療についてまだまだ勉強不足でこれからもっと勉強していき、年も年なのでどこまでやれるか分かりませんが努力していきたいと思いました。
- ・多職種の方の意見を聞く事で同じ連携について悩みを持っているのだなと分かりました。
- ・顔の見える関係、多職種への理解を深める事は大切だと感じます。とても良い機会を頂き、ありがとうございました。
- ・多職種の方と話や意見交換ができて良かったです。
- ・保険証とお薬手帳、病状等が一体となったものがあると良いのではないのでしょうか。

- ・プロジェクトチームを組んで共通のフォーマットを検討する必要があると思いますが、湖北地域が同一の方向を向かないと動かないと思います。行政と医師会、病院のトップが一堂に会し検討する場があると早いと思います。
- ・連携ツールを作成して湖北全地域で活用可能となる様(フェイスシート・サマリー)チームを作って頂ければと思います。
- ・医療と介護の共通認識が重要で病院の中だけでなく地域生活の中で、全ての関われる人が顔を合わせて情報共有していく事が大切だと思いました。その中には上下ではなくチームとして個々の並行的な関わりが大切で、自分(介護)としては能力と技術のレベルアップが急務だと思いました。
- ・在宅におけるグループ医療を。
- ・月1回位、集まるといいのでは。
- ・お薬手帳の有効利用がやはり必要と思いました。
- ・(湖北に特化した連携ツールの取組みについて)今のままで良い。病院以外での看取りが多いのは病院数が少ないからですか？それとも別の要因がありますか？

